

令和4年度 第52回小樽支部高等学校テニス選手権大会

兼 第62回北海道高等学校テニス選手権大会 小樽支部予選会

開 催 要 項

主 催 高体連小樽支部
後 援 岩内町・小樽テニス協会
当番校 北星学園余市高等学校

- 1 期 日 令和 4 年 5月18日 (水) 午前8時15分 顧問会議 (晴雨にかかわらず集合を基本とする)
午前8時25分 開会式
午前8時45分 競技開始 (団体戦・個人戦ダブルスを予定)
5月19日 (木) 午前8時15分 競技開始 (個人戦シングルスを予定)
閉会式(競技終了次第)

*雨天順延

2 会 場 岩内運動公園テニスコート および 岩内高校テニスコート

3 競技規則 国際テニス連盟規則に準ずる。(高体連テニス専門部で定めるローカルルールを採用する)

- 4 参加資格
- 1) 北海道テニス協会並びに北海道高等学校体育連盟に加盟する学校、または高等専門学校で各支部高体連テニス専門委員より推薦された学校の生徒であること。
 - 2) 「主催大会参加災害補償制度」に加入した者、または加入の意志のある者。
 - 3) 年齢は4月2日起算とし、19才未満の者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - 4) 団体チーム・個人チーム(複)の構成は、単一高校の生徒であること。
(全日制・定時制の混成は認めない。)
 - 5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。ただし、高体連小樽支部長が許可した者は、この限りでない。
 - 6) 出場する選手は在学学校長の出場承認を必要とする。

5 チームの《団体の部》

構 成

- 1) 各学校から男女各1チームで、監督1人、マネージャー1人、選手で構成する。
- 2) 選手は、単の実力順位で4人以上5人以内を登録する。複の試合は5人の中で 適当に1組を作り、単の試合は他の3人の中で、どの2人が出場してもよいが、登録の順位に従ってオーダーを提出する。
また、単複を同一選手が兼ねることはできない。

《個人の部》

- 1) 各校男子、女子とも実力順に単6人・複4組以内とする。

6 競技方法

- 1) 団体戦は、複1組、単2人のトーナメントとし、初回戦は勝敗にかかわらず3試合すべて行う。
- 2) 個人戦は、単・複ともにトーナメントとする。
- 3) 1セットマッチで行い、6ゲームオールの場合は、ITF方式 7ポイントタイブレイクとする。
- 4) 試合球: WILSON「US OPEN EXTRA DUTY」とする。

7 申 込 み

- 1) 所定の用紙に必要事項を入力し5月12日(木)正午必着で専門委員 林へメールすること。
- 2) メール宛先: 岩内高校 林 哲平 メールアドレス: tetsu884@hokkaido-c.ed.jp
- 3) 岩内高校(〒045-0012 岩内郡岩内町宮園43番地1、TEL(0135)62-1445)
- 4) 職印を押した正式申込書および参加料1人300円は、大会当日受付時に事務局へ提出すること。

8 組 合 せ

5月14日(土)午前9時より、岩内高校会議室において専門委員会で決定する。

10 そ の 他

- 1) 服装はテニスウェアとし、腰部に葉書大の校名入りマークを明示する。
- 2) ガットマークの使用は禁止する。
- 3) 審判は敗者審判を原則とする。
- 4) コールされて5分以内にコートに入らなければ失格の対象となる。
- 5) コートには、競技者・審判員・ボールパーソン(シングルスのみ)以外は入場できない。
ただし、団体戦では登録された監督1名または選手1名が各ベンチに入ることができる。
- 6) 試合前の練習はサーブのみとする。
- 7) 団体戦の優勝校および個人戦優勝者には優勝杯(持ち回り)と賞状を、4位以内には賞状を授与する。
- 8) 大会の成績は今年度の秋季大会団体戦および年間の個人戦のシードの資料とする。
- 9) 大会は高等教育の一貫としてふまえ、著しく他に影響を与えるような頭髪の染色や華美な装飾品(ピアス等)の着用などは原則認めない。
- 10) 監督は男女別を原則とする。
- 11) 公式練習は、午前7時30分～8時10分。コート割り当ては専門委員会でを行い、後日連絡する。
- 12) 開会式・閉会式・表彰式の服装はチームウェアまたはテニスウェアとする。
- 13) 全道大会は、6月6日(月)～9日(木)野幌総合運動公園テニスコートで行われる。
全道大会の出場枠は団体男子2校、女子1校、個人男女シングルス各3名、男ダブルス4組、女ダブルス3組
- 14) 選手が欠場の場合、開会式前の顧問会議までに次の要領で選手の補充を行う。なお、顧問会議以降の変更は認めない。
 - i) シード選手が欠場した場合は繰り上げし、第4シードに補欠シードを入れる。補欠が抜けた場所には欠場当該学校の生徒を補充してもかまわない。シード選手が2名以上欠場した場合、繰り上げし残りはbyeとする。
 - ii) シード選手以外の欠場の場合は当該学校の生徒を補充しても良い。この場合ダブルスのペア変更も認める。